

時代を超えて 今、甦る「石狩川」



札幌大橋とJRの鉄橋に挟まれた石狩川畔に川を眺め入るようにそびえ建つ記念碑をご覧になったことがありますか。これが、本町出身の作家「本庄陸男」の代表作「石狩川」を顕彰した文学碑です。今年には本庄陸男生誕百年を迎えます。これを記念して、本庄陸男と石狩川にまつわる各種イベントを行います。

作家 本庄陸男



文学碑「石狩川」



本庄陸男と当別

本庄は、明治38年に大美ビト工に生まれ、農業と雑貨商を営む家族と8歳までをこの地で過ごし、その後、北見の渚滑村に移住。少年時代は開拓農民の貧しい生活を送りました。16歳で上京、青山師範学校時代から雑誌投稿を始め、教員として子供たちの教育に携わる傍らで、短編小説の発表などの活動を続けています。昭和5年に教職から去ったのちは、執筆に専念するも、妻の病死やどん底の貧困生活に追い込まれながら作家活動を行ってきました。

そんな中、昭和13年に創刊の文芸雑誌「槐」に「石狩川」の連載を開始しました。5回を連載後、後半を一気に書き下ろし、小説「石狩川」を刊行しました。本庄が遠い故郷、当別の想いをはせた小説は、続編を予定していましたが、時すでに遅く、本庄の身体は病魔に冒され、たった2カ月後の昭和14年7月23日、34歳の若さでこの世を去りました。

「本庄陸男生誕の地」碑

小説「石狩川」は、仙台藩一門岩出山伊達邦直公主従によって開拓のクワが入

れられ、石狩川という大自然と死闘をくり返しながら切り開いていった当別の史実に基づいた成立史であり、今もなお長編歴史小説として、親しまれています。

また、東映が小説「石狩川」を映画化した「大地の侍」は昭和31年に公開されています。当別ゆかりの映画フィルムは現在、岩出山町と当別町の2本のみで、幻のフィルムとも言われています。昨年、そのフィルムで、札幌のミニシアターが上映会を開催しました。予想以上の来場者で急ぎよ2回に分けて上映するほどの反響ぶりでした。また、12月には函館港イルミネーション映画祭でも上映され、観客に大きな感動を与えました。

今年、生誕百年を記念し、西当別コミュニティセンターで上映会を行い、多くの方に鑑賞していただきたいと考えています。

石狩川畔の文学碑は、昭和39年7月に除幕が行われてから今日まで、町観光協会を中心に毎年「献花式」を行い、その偉業を称えるとともに町の財産として大切に守ってきました。

この機会に当別の歴史、本庄陸男の「石狩川」に触れてみてはいかがでしょうか。数々のイベントに是非、足を運んでみてください。

作家吉村昭さんを招いて文化講演会を開催



戦史小説、歴史小説のほか多彩なテーマ、長・短編ものなど幅広い作品で読者を引き付けている。
(入場無料)

本庄陸男生誕百年記念イベント

日にち **7月16日(金)～18日(日)**
会場 西当別コミュニティセンター
主催 当別町観光協会

	イベント	時間	会場	内容
16日(金)	大地の侍上映会	14時・18時	西当別 コミセン	入場無料 主演/大友柳太郎
17日(土)	文化講演会「史実と歴史小説」 講師/作家 吉村昭さん	18時		代表作・「戦艦武蔵」 北海道になじみ深い作品・「巖窟」 「破獄」など。
	献花式 	14時30分	文学碑前	西当別中学校合唱部が歌う。 当別音頭を守る会が踊る。 ふとみ元風会がYOSAKOIを舞う。
16日(金) ～ 18日(日)	展示コーナー 初公開の品が盛りたくさん！ 町内特産品販売もたっぷり！ 乞うご期待！	16日 11時～21時 17日 10時～21時 18日 10時～15時	西当別 コミセン	本庄陸男展・石狩川治水展 当別開拓展・当別観光物産展 町民劇「石狩川」展・フィルムコミッション展・ビデオコーナー

【詳細・問合せ】 町観光協会「商工課」内・☎23-3129